

結核

結核とは、結核菌による感染症です。今でも全国で年間約1万人以上の新しい患者が発生し、1,600人以上が命を落としているため油断はできません。結核は誰でもかかる可能性がある病気です。

主な症状

咳、痰、発熱、呼吸困難等、風邪のような症状が多い。

(腎臓(血尿等)、リンパ節(首や鎖骨付近のリンパ節の腫れ)などに影響が出る場合があります。)



感染経路

○飛沫核感染・空気感染

結核を発病して排菌している人が咳やくしゃみをした時の飛沫に含まれる結核菌を吸い込むことによって感染します。

感染・発病の違い

○「感染」とは、結核菌が体内に入り込んだ状態をいいます。

免疫力が低下して体力が落ちた時に発病することもあります。健康的な生活により免疫力を保てれば一生発病しない方もいます。

○「発病」は、結核菌が体内で増えて病気を引き起こした状態をいいます。

発病の初期は、結核菌が排菌されることはありませんが、進行により排菌し、他の人へ感染させるようになります。



予防

★予防接種 (BCG)

乳幼児期に接種するワクチンです。母子手帳で接種しているかを確認しましょう。

★日常生活を整える

健康的な生活が、免疫力を高めます。適度な運動、十分な睡眠、バランスの良い食事、タバコは吸わないなど、健康的な生活をこころがけましょう。

★定期健診を受けましょう

結核に限らず様々な疾患の早期発見のために胸部エックス線(レントゲン)検査を1年に1回程度受けておくことが大切です。

特に結核については、咳などの症状がない状態での早期発見ができることがあります。

★早めの受診

痰が絡む咳、身体のだるさ、微熱などの症状が2週間以上続いている方は、結核の可能性もあるので、早めに受診しましょう。

結核が進行すると咳やくしゃみによって周りの人への感染リスクが高くなることから、早期発見・早期治療が重要です。



治療

複数の抗結核薬を6か月以上飲み続ける必要があります。

★注意

治療を開始した後、治療の途中で服薬を止めてしまったり、指示された通りに飲まなかったりすると、結核は完治しません。それどころか菌が抵抗力をつけ、薬が全く効かない多剤耐性菌になり、治療が非常に難しくなることがあります。医師の指示を守って、治療完了まできちんと薬を飲み続けることが最も重要です。

引用先

- ・ 東京都感染症情報センター

<https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/diseases/tb/>

- ・ 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou03/index.html

- ・ 公益財団法人結核予防会結核研究所

<https://jata.or.jp/about.php>

- ・ 首相官邸ホームページ

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/kekkaku.html>

もっと日本を。もっと世界へ。



KOKUGAKUIN U.N.C.

國學院大學